

第6回運営委員会

日時：平成23年11月20日13:00

場所：新大阪丸ビル新館809号室

出席者：片岡、難波、伊藤、由良、石島、相沢、上久保、寺嶋、柳澤、須藤、村上、山下、原田、今田、光岡、神取、瀧ノ上、出村、政池、南野、小倉、本間、七田、木寺、石渡、垣内

【報告事項】

1. 平成23年度年会報告（小倉：報1）

年会の決算報告があり、若干の黒字となったことが報告された。また、事前収入と当日収入がほぼ同額であり、当日の入金受付業務が大きなウェイトを占めることが指摘された。年会参加人数などについて、参加者数1280名、懇親会参加者数562名であったこと、調査を行った姫路への宿泊数が補助金受給の条件を大きく上回ったことが報告された。

2. 平成24年度年会準備状況（本間）

年会の開催案が報告された。シンポジウム開催会場として理学研究科内に12部屋、やや離れて5部屋が最低限確保可能であることが報告された。日程表の案が提示され、シンポジウムを1,2日の午前中（数が多い場合は予備として3日目午後）、全員が聴講するような特別シンポジウムを1日目の夕刻、一般発表としてポスターおよび口頭発表を3日通して行う案が提案された。一般発表については、口頭発表とポスター発表いずれかの選択形式を予定しており、申込み時の希望に応じて実行委員会で振り分ける予定であることが報告された。ポスター展示会場として豊田講堂を予定しており、ホワイエで機器展示、そのまわりでポスター発表を行う計画が報告された。受付は理学南館で予定しており、分野別専門委員会の開催なども対応可能であること、懇親会場としては生協（定員600名程度）を予定していることが報告された。

年会参加費の支払い方法について議論され、としてクレジット支払い導入の可否を年会実行委員会側で決定することになった。予稿集のCD化に関する議論があり、次回運営委員会まで検討することになった。

年会HPが開設されたことが報告された。

3. 平成25年度年会準備状況（七田）

会場は京都国際会館で2013年10月28日（月）～30日（水）に開催し、準備および公開講演会を27日（日）に行う予定であることが報告された。実行委員会の立ち上げおよび役割分担が行われたこと、来年の名古屋年会の頃から本格的に活動を開始する予定であることが報告された。

4. 出版委員会報告（伊藤：報4）

生物物理の投稿規定の改訂について提案があり、電子付録(Supplement)の存在が投稿規定に明記されていなかったため、投稿規定に内容を追加することが報告され、承認された。

「生物物理」300号記念特集号（2012年4月号）の進捗状況について報告があった。なお、編集委員会の構成は以下の通り。委員長：神取秀樹（名工大）、委員：木寺詔紀（横浜市大）

現会誌編集委員長)、中村春木(阪大・次期会誌編集委員長)、石島秋彦(東北大)、伊藤悦朗(徳島文理大)、今田勝巳(阪大)、太田元規(名大)、七田芳則(京大)、辰巳仁史(名大)、豊島陽子(東大)、野地博行(東大)、本田真也(産総研)、光岡 薫(産総研)。

生物物理などの学会誌について、Medical e-hon、メディカルオンラインから有料配信したいとの打診があったことが報告され、承認された。

BIOPHYSICSについて、今年はJ-STAGE3での最低限度とされている年間投稿数20報を上回る投稿数であったこと、依頼原稿や今後若手奨励賞への応募資格にBIOPHYSICS投稿経歴を加えることが計画されているため、さらに投稿数が増えると予想されることが報告された。また、生物物理に掲載された優れた総説のreview化などについて、Biophysical Reviews誌と協議の上進めていくとの考えが示された。さらの論文の新カテゴリーを3つ追加しており、英文投稿規定の準備をしていることが報告され、エディターの判断で慎重な検討に基づき投稿論文のカテゴリー変更をしてもよいとの考えが示された。また、来年度も同じ体制の編集委員会で進めていくとの報告がされた。

HPを9月27日にリニューアルしたことが報告された。HP編集委員はこれまでサーバーやメーリングリスト管理が主であったが、管理環境が整った今後は情報発信の場としてHPをどのように編集していくか、HP編集委員会の役割などについて議論中であることが報告された。

5. 男女共同参画・若手問題検討委員会報告(由良)

男女共同参画・若手問題検討委員会の開催報告がされ、若手奨励賞の審査報告、年会中の男女共同参画シンポジウムの開催報告、来年度年会の男女共同参画シンポジウムの内容を検討中であること、次回年会開催中にキャリア斡旋会社のブースを出すことについて名古屋年会と今後協議していきたいとの考えが報告された。

6. 男女共同参画学協会連絡会報告(由良)

10月31日開催の男女共同参画学協会連絡会シンポジウム報告や今後のシンポジウム開催予定が報告された。

7. 賞・助成金推薦委員会報告(伊藤:報7)

第52回東レ科学技術研究助成候補者、第52回東レ科学技術賞候補者の学会推薦者が報告された。

来年度は賞・助成金推薦委員長は由良敬副会長が担当するとの報告があった。

8. 生物科学学会連合連絡会報告(片岡:報8)

生物科学学会連合定例会議の報告があった。

9. 日本学術会議報告（片岡：報9）

第22期学術会議発足に伴い、1月9日に開催予定の学術シンポジウムの紹介があった。

9. IUPAB・ABA関連報告（片岡：報10）

第17回のIBC(IUPAB)の開催報告があり、ポスター740件（うち日本人45名）、参加者総数2389名であったことが報告された。9名の旅費支援および1名の被災地支援を行ったこと、ポスター賞を日本人8名が授賞したことが報告された。また、総会の参加報告およびIUPABの常任理事選挙結果が報告され、永山國昭前期会長が理事として新規に選出されたことが報告された。

【議題】

1. 次期会誌編集委員・編集地区委員の選出（伊藤：議1）

次期生物物理の編集委員の選出について、H24・25会誌編集副委員長として原田慶恵氏（京大）、会誌編集委員として池上貴久氏（阪大）、今元泰氏（京大）、北原亮氏（立命館大）、澤井哲氏（東大）、十川久美子氏（東工大）、湊元幹太氏（三重大）、南野徹氏（阪大・担当運営委員）、編集地区委員として林久美子氏（東北大、東北地区）、古寺哲幸氏（金沢大、北陸地区）、寺北明久氏（大阪市大、関西地区）、水野大介氏（九州大、九州地区）が選出されたことが報告され、承認された。

2. 平成24年度分野別専門委員の選出（伊藤：議2）

出版委員会を代表して伊藤悦朗副会長と石島秋彦次期副会長の協議により選出された、約150分野の分野別専門委員が報告され、承認された。新設分野として人工生体分子システム(E-26)、免疫受容体(A-29)を追加することが提案され、承認された。分野別専門委員の活動内容について、明文化されたものがないため、委員のあり方について今後検討していくこととなった。

3. BIOPHYSICS編集委員について（伊藤：議3）

J-STAGE3への移行期間であること、またImpact Factor取得を目指している過程であること、新しいカテゴリ設定など新たな取り組みを行っていることなどから、現メンバーをそのまま留任することが提案され、承認された。またEditor-in-chiefが頻繁に変わることはデメリットがあるため、Editor-in-chiefや編集委員の年限についての議論を出版委員会で行いたいとの提案があった。

4. HP編集委員について（伊藤：議4）

HP編集委員について、就任中の編集委員（次期HP編集委員長候補）が事情により継続困難となったため、新委員として和沢鉄一氏（東北大）、次期HP編集委員長として由良敬氏（お茶の水大）が就任するとの提案があり、承認された。

HPやHP編集委員会のあり方について議論があり、これまではサーバー管理などの技術的側面が大きかったが、どのような位置づけでどのような内容を掲載すべきか、また邦文誌が今後どのようなようになるのかとも関連する問題であるため、今後検討していく必要があるとの考えが出された。

5. BIOPHYSICS論文賞について（片岡：議5）

BIOPHYSICS論文賞の公募案が提案され、審議の結果推薦方法、締め切り等が決定した。今後ML及び会誌によって会員に周知される。

6. 滞納3年以上の会員の除籍について（相沢・須藤：議6）

滞納3年以上の会員について、12月31日までの入金がない場合除籍を行うことが提案され、承認された。

これまでの入会キャンペーンの結果が報告された。

7. 平成24・25年度学会委員候補者推薦について（上久保：議7）

平成25・26年度学会委員選挙候補者の推薦に関する会誌掲載原稿案が提案され、承認された。

8. 次期会長選出方法について（難波）

会長選挙の投票数を増やすアイデアを求める提議があり、進行スケジュールを早め年会申込みと連動させる提案があった。

9. 法人化について（片岡）

総会で示された法人化のロードマップに従って進めることが確認され、今後の検討課題が示された。

10. 関東支部の実質的な活動開始（再開）について（由良：議10）

これまで関東支部活動がなかったこと、学生の発表の場および学生を含めた研究者の関東での交流の場を持ちたいとの理由から、関東支部の活動を開始（再開）したいとの提案があり、他支部と同様の扱いをするかどうかについては今後の同支部活動の推移を見守ることになった。

その他

片岡会長から退任挨拶があった。

【連絡事項】

1. 次回運営委員会日程について（難波）

2012年2月4日（土） 場所未定